

がんや難病が増え続ける日本、
 毎日約900人の人々ががんで亡くなっています。
 病院で行われる手術、抗がん剤、放射線の治療……

本当にそれだけしかないのでしょうか？

代替医療ってどんな療法？統合医療の道を開くのは誰？

患者も家族も、そして医師の人達も、
 ホリスティック医学の可能性を見出し、
 治療法や生き方を自分で選択する時代が、
 もうそこまできているのです。



帯津 良一
 医師・医学博士
 神津三台病院院長
 NPO法人日本ホリスティック医学協会会長



寺山 心一翁
 有限会社健康意識研究所社長
 日本ウェルザーズヘルス学会副理事長



矢山 利彦
 医師
 医療法人山崎会 Y.H.C.矢山クリニック 院長



ハワード・D・ストラウス (ゲルソン)
 Cancer Research Wellness Institute
 (カリフォルニア、カールズバッド) 所長



堂福 隆一
 医師・医学博士
 元ニューヨーク科学アカデミー会員



船瀬 俊介
 消費者・環境問題評論家



矢野原 良民
 医学博士
 鹿児島大学客員教授

2008.7.19-20

第14回

代替・統合療法コンベンション

会期 ■ 2008年7月19日(土)・20日(日) [21日(月・祝)ドクターズプログラム]

会場 ■ ベルサール九段 (イベントホール) 東京 / 千代田区

主催 ■ NPO法人がんコントロール協会 (米国がんコントロール協会日本支部)

〒263-0031 千葉県千葉市稲毛区稲毛東3-7-5 TEL:0120-099-727



水上 治
 医師・医学博士
 健康増進クリニック院長



カート・ドンスバック
 米国 PhD
 メキシコシアナ サンタモニカ病院院長



鶴見 隆史
 医師
 鶴見クリニック院長



寺川 國秀
 歯学博士 日本歯周病学会理事



周東 寛
 医師・医学博士
 日本漢方療法士



宗像 久男
 医師
 CCSクリニック院長



小川 眞誠
 日本ケーゴル協会会長
 NPO法人日本心身機能改善推進協会理事



森山 晃嗣
 NPO法人がんコントロール協会代表
 がん分子栄養学講師

『アメリカはなぜガンが減少したか!!』

1990年 300ページのOTAレポート

OTAとはアメリカの諸政策の立案のための基礎調査をするアメリカ議会の調査専門部門、アメリカ議会技術評価局 (Office Of Technology Assessment) のことです。1988年 アメリカの上下両院議員40名は、連名でOTA (アメリカ議会技術評価局) にガンの代替医療法のことを調査するための専門プロジェクトを発足させました。2年後の1990年9月、食事療法やサプリメントを使った栄養療法の有効性について報告書 (OTAレポート) が作成され、米議会に提出されました。

このOTAのレポートは、非通常療法による効果を数多く紹介すると共に、通常療法の多くの欠陥を指摘し、NCIやアメリカ・ガン学会などに激しい批判と叱責を加えているほどでありました。抗ガン剤ははたしてその使用を正当化するだけの根拠があるのかという疑問まで持ち出されています。そして「現在のガン治療が少なくともNCI (アメリカ国立ガン研究所) がいうほどには、効果をあげておらず、過去30余年間、ガン療法 (通常療法) には見るべき進歩が何もなく、指摘しています。

会場地図



入場料金のご案内

当日券より前売券がお安く、1日券より2日券がお安くなっています。2名様以上で2日通し券をお申し込みの場合、さらに割引がございます。

当日券	
1日券	一般 11,000円/会員 10,000円
2日通し券	一般 19,000円/会員 17,000円
前売券	
1日券	一般 10,000円/会員 9,000円
2日通し券	一般 18,000円/会員 16,000円
特別割引 前売券2日通し・2名様以上	一般・会員共 14,000円
特別割引 前売券2日通し・早割り特典	一般・会員共 14,000円

早割り特典：2日間通し券をご希望で6月10日(火)までにチケット代お振込みの方は、お一人様の申し込みでも14,000円になります。

主催

NPO法人 がんコントロール協会

(米国がんコントロール協会日本支部)

本部：〒263-0031 千葉県千葉市稲毛区稲毛東3-7-5
フリーダイヤル 0120-099-727

東京センター：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-14
赤尾興産ビル5F
TEL 03-5294-8899

共催

ポタニック・ラボラトリー株式会社
株式会社生活科学研究会/NPO法人日本ヘルス協会

お申し込みは下記お申込み用紙にてFAXまたは、お電話(フリーダイヤル)、協会HP、E-mailにて受け付けております。

★お申し込みを受け次第「チケット」と支払い用「振込み用紙」を送いたしますので、到着後1週間以内にお振込みください。

★宿泊希望の方は6月10日(火)までにがんコントロール協会までお電話ください。それ以降は各自でのご予約になります。(宿泊先-九段会館)

0120-099-727

FAX 0120-500-101

協会HP <http://www.npo-gancon.jp>

E-mail ccs@npo-gancon.jp

会場

ベルサール九段(イベントホール) TEL.03-3346-1396
東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル3-4F



下記のお申し込み書に必要事項を記入の上お申し込み下さい

FAXお申し込み書

FAX 0120-500-101

前売：1日券	前売：2日通し券	特別割引：2日通し券(2名様以上および早割り特典)
7月19日(土) <input type="checkbox"/> 一般 10,000円 <input type="checkbox"/> 会員 9,000円 枚	<input type="checkbox"/> 一般 18,000円 <input type="checkbox"/> 会員 16,000円 枚	14,000円 (一般、会員共同一の金額になります) 名
7月20日(日) <input type="checkbox"/> 一般 10,000円 <input type="checkbox"/> 会員 9,000円 枚	会員種別(該当の□にチェックを入れてください) <input type="checkbox"/> NPO法人がんコントロール協会会員 <input type="checkbox"/> NPO法人日本ホリスティック医学協会会員 <input type="checkbox"/> 生活科学研究会会員 <input type="checkbox"/> ポタニック・ラボラトリー会員 <input type="checkbox"/> NPO法人日本ヘルス協会会員 <input type="checkbox"/> その他()	

ご氏名 男・女 電話番号(自宅又は携帯)

ご住所 〒

ご氏名 男・女 電話番号(自宅又は携帯)

ご住所 〒

★特別割引通し券3名以上のご希望の方はご連絡下さい。

～アンケートにご協力ください～
下記の該当の□にチェックを入れてください。

■ 個人情報保護法に基づき、ご記入いただきました個人情報は、当コンベンションを主催するNPO法人がんコントロール協会と、共催するポタニック・ラボラトリー株式会社以外が使用することはありません。

■ **ご職業**
 医療関係(医師、看護師) 講師関係 健康食品関係 会社員 教育関係 自営業 主婦 学生 その他

■ **今回のコンベンションを何でお知りになりましたか？**
 紹介者から HP 生活科学研究会 日本ヘルス協会 日本ホリスティック医学協会 ポタニック・ラボラトリー
 広告/新聞/雑誌等 がんコントロール協会 その他

ありがとうございました

がんや難病が増え続ける日本、
毎日約900人の人々ががんで亡くなっています。
病院で行われる手術、抗がん剤、放射線の治療……

本当にそれだけしかないのでしょうか？

代替医療ってどんな療法？統合医療の道を開くのは誰？

患者も家族も、そして医師の人達も、
ホリスティック医学の可能性を見出し、
治療法や生き方を自分で選択する時代が、
もうそこまできているのです。

2008.7.19-20

第14回

代替・統合療法コンベンション

会期 ■ 2008年7月19日(土)・20日(日) [21日(月・祝)ドクターズプログラム]

会場 ■ ベルサール九段(イベントホール) 東京/千代田区

主催 ■ NPO法人がんコントロール協会(米国がんコントロール協会日本支部)

『アメリカはなぜガンが減少したか!!』

1990年 300ページのOTAレポート

OTAとはアメリカの諸政策の立案のための基礎調査をするアメリカ議会の調査専門部門、アメリカ議会技術評価局(Office Of Technology Assessment)のことです。1988年 アメリカの上下両院議員40名は、連名でOTA(アメリカ議会技術評価局)にガンの代替医療法のことを調査するための専門プロジェクトを発足させました。2年後の1990年9月、食事療法やサプリメントを使った栄養療法の有効性について報告書(OTAレポート)が作成され、米議会に提出されました。

このOTAのレポートは、非通常療法による効果を数多く紹介すると共に、通常療法の多くの欠陥を指摘し、NCIやアメリカ・ガン学会などに激しい批判と叱責を加えているほどでありました。抗ガン剤ははたしてその使用を正当化するだけの根拠があるのかという疑問まで持ち出されています。そして「現在のガン治療が少なくともNCI(アメリカ国立ガン研究所)がいうほどには、効果をあげておらず、過去30余年間、ガン療法(通常療法)には見るべき進歩が何もなかった」とも、指摘しています。

第14回 代替・統合療法コンベンション

代替療法に取り組む15名の講師が、その研究と成果について講演します

7月19日(土) タイムテーブル

司会:橋谷 圭伊子・森山倅枝 通訳:園田 亜紀

9:20~9:50	 開会挨拶 森山 晃嗣 NPO法人がんコントロール協会・米国がんコントロール協会日本支部 代表 フランク・コウジノウ 米国がんコントロール協会 会長
9:50~10:50	 講演「もっと希望とときめきに満ちた“場”が欲しい」 帯津 良一 医師・医学博士 帯津三敬病院名誉院長 NPO法人日本ホリスティック医学協会会長 東京大学医学部卒 ホリスティックなアプローチで西洋医学および代替療法のバランスをとりながら治療を進め、その実績は高く評価されている。主な著書に「大養生」「いい場を創ろう」「帯津流がんと向きあう養生法」「静けさに帰る」「いのちの力」「健康問答①②」
10:50~11:50	 講演「がんを癒す仕組みがわかる～意識の超越理論」 寺山 心一翁 有限会社超越意識研究所社長 日本ウェラー・ザン・ウェル学会副理事長 早稲田大学第一理工学部で物性物理学を学び東芝に入社。半導体素子の開発などに従事。1984年右腎臓ガンを患い、三大療法のあと肺などに転移。死を覚悟で退院。自宅でガンに愛を送り、チャクラを開き、チェロの波動でガンは自然治癒する。主な著書に「ガンが消えた(日本教文社)」「フィンドホーンへのいざない(サンマーク出版)」。
11:50~13:00	昼休憩 お弁当の販売を致します
13:00~13:50	 講演「リュウマチがここまで治った!」 矢山 利彦 医師 医療法人山桃会 Y.H.C. 矢山クリニック 院長 1980年、九州大学医学部卒。薬や手術だけでは健康を取り戻すことのできない自らの医療に満足できず、福岡医師漢方研究会で東洋医学を学ぶ。漢方薬、鍼灸などの研究、実践を経て、氣功に辿り着く。83年、九州大学医学部第2外科に入室。現在西洋医学と東洋医学を融合させ、「氣」という生命エネルギーを生かす総合的な医療を実践している。
13:50~14:50	 講演「ゲルソン療法の真髄—The Gerson Miracle」 ハワード・D・ストラウス (ゲルソン) Cancer Research Wellness Institute(カリフォルニア、カーメル市) 所長 マサチューセッツ工科大学卒。Grandson of Dr. Max Gerson (ゲルソン療法の創始者マックス・ゲルソンの孫) 医聖ヒポクラテスの再来といわれるマックス・ゲルソン博士の食事療法の真髄を母シャーロットゲルソン女史と共に継承。
14:50~15:20	休憩
15:20~16:20	 講演「癌の統合医療」 堂福 隆一 医師・医学博士 元ニューヨーク科学アカデミー会員 1966年東京大学医学部卒、68年都立駒込病院内科勤務、70年シティ・オブ・ホープ・メディカルセンター生物学部、73年メモリアル・スローン・ケタリング・ガンセンター免疫部門、82年オランダ癌研究所、83年(財)癌研究会癌研究所細胞生物学部、99年退職。
16:20~16:40	休憩
16:40~17:40	 講演「抗がん剤を問う!」 船瀬 俊介 消費・環境問題評論家 九州大学理学部入学(中退)、早稲田大学社会学科を卒業後、日本消費者連盟に参加。[消費者レポート]などの編集等を担当する。独立後は消費者、環境問題を中心に執筆、講演活動を展開。著書「あぶない電磁波」「抗がん剤で殺される」「買ってはいけない」(共書)
17:40~18:30	 講演「矢野原式未来型エコ農法—野菜が水没!？」 矢野原 良民 医学博士 鹿児島大学客員教授 1972年鹿児島大学大学院修士課程修了、微生物・植物・動物の共生と水の重要性をとらえ、細胞を守る・治すという観点から、難病対策や健康問題に取り組む。そして安全な野菜を作るため“なごさ農法”“害虫駆除”の理論を融合させた矢野原新農法を完成させる。

7月20日(日) タイムテーブル

司会:橋谷 圭伊子・森山倅枝 通訳:園田 亜紀

9:20~9:30	開会挨拶 森山 晃嗣 NPO法人がんコントロール協会・米国がんコントロール協会日本支部 代表
9:30~10:20	 講演「最新のガン統合医療」 水上 治 医師・医学博士 健康増進クリニック院長 1948年北海道生まれ。1973年弘前大学医学部卒業。90年より米国カリフォルニア州ロサンダース大学公衆衛生大学院で学び、健康の様々な分野120単位を取得。主な著書に「食をうばい返す」有斐閣(共著)、「健康を創る」福音社、「健康医がすすめる! 1週間バランス健康法」PHP。
10:20~11:20	 講演「真実のガン治し」 鶴見 隆史 医師 鶴見クリニック院長 1948年生まれ。1979年金沢医科大学卒業。1984年頃から西洋医療を離れ東洋医学を学ぶ。主に漢方(中医学)、特に鍼に関しては、島根の河野忠男氏に師事。究極の鍼灸技を身につける。1986年頃から同時に栄養学を学ぶ(日本の栄養学・アメリカの分子矯正医学)。1995年から酵素栄養学を追求し、2000年以降、アメリカ・ヒューストンで活躍中の酵素栄養学博士(ヒューラ博士、マドド博士、ロイ博士)につき指導を受ける。
11:20~12:10	 講演「ガンの予防と治療—特に免疫増進対策法」 周東 寛 医師・医学博士 日本温泉療法医 1978年 昭和大学医学部卒業。1978年~80年4月昭和大学藤が丘病院内科勤務。1980年5月~86年2月昭和大学藤が丘病院呼吸器内科教室勤務。1986年3月駅ビル医院「せんげん台」を開院。1990年12月医療法人健身会設立、理事長に就任。主な著書に「演歌療法で若返る」「野草酵素健康法」。
12:10~13:20	昼休憩 お弁当の販売を致します
13:20~14:20	 講演「認知症改善プログラムと改善事例発表」 小川 真誠 日本ゲーゴル協会会長 NPO法人日本心身機能活性療法指導士会理事長 日本大学卒、「ゲートボールあしながおじさんチャリティー大会」実行委員会事務局長等を歴任し、日本ゲーゴル協会を設立。また心身機能活性療法を考案し、指導者育成や認知症改善のため日々奔走しながら、海外でも活躍し成果を上げている。主な著書に「認知症が目に見えて良くなる改善プログラム・衝撃の事例集」「GBSハンドブック」。
14:20~15:20	 講演「楽しく笑って、元気に噛んで、百歳までも健康長寿!」 寺川 國秀 歯学博士 日本建築医学協会理事 東京歯科大学卒 1959年東京大学口腔外科入局。1996年医療法人社団富岳会メトロポリタンアルプス歯科を開設し、日本審美歯科学会活動を通して日本歯学界の代表的存在として広く海外でも活躍。又、笑楽一念生友の会PTA快調(会長)として楽しい交流の集いも主宰する。歯の名医であると共に、人の心の楽しいあり方を導かれる名医でもある。
15:20~16:00	休憩
16:00~18:10	 講演「分子矯正栄養学とがんIPT療法の相乗効果—その実践!」 カート・ドンスバック 米国 PhD メキシコティアナ サンタモニカ病院院長 メキシコティアナの代表的な癌の代替療法の病院(ゲルソン病院、オアシス病院)の一つサンタモニカ病院院長。 *231人の患者の94%が半年以内と言われたが79.6%が34-46ヶ月で生存中。
	 宗像 久男 医師 CCSクリニック院長 早稲田大学卒業、同大学院政治経済学部で国際経済学を学ぶ。その後栄養補助食品の普及に10年間従事する。長崎大学医学部に41才で入学、専門は神経内科。
	 森山 晃嗣 NPO法人がんコントロール協会代表 正常分子栄養学講師 主な著書に「アメリカはなぜガンが減少したか」「続アメリカはなぜガンが減少したか」。
18:10	開会セッション フランク・コウジノウ 米国がんコントロール協会 会長 ボランティアチーム・参加者の皆様

※講師及び時間は一部変更することがあります。

7月21日(月・祝) **カート・ドンスバック博士とのドクターズプログラム** 【医師の方が対象です】
 ベルサール九段会議室(3F) AM10:00~PM4:00 ※ 有料にて一般の方も傍聴できます。詳しくはお問合せ下さい。